

全商連「経営対策交流会」第7回 オンライン連続講座に参加して

要求運動部長 寺本政喜さん

（可部北支部）の報告

今週号3面に記事

5月10日（金）、夜7時より、広島北民商事務所からも接続して、全商連主催の経営対策交流会「商売も民商も次代へつなごう」のオンライン講座に参加しました。

各民商からの実践報告をみんなで視聴しました。

① 宮城・塩釜民商

からは、母が経営していた製函業を引き継いだ会員からの報告がありました。母が経営していたとき、社員が辞めたため仕方なく引き継いだ、慢性的な赤字が続いて資金繰りは苦しいそうです。段ボール加工業は競争が激しく、大手企業が多くやっているのでも価格競争になりやすく、零細業者は大変です。又、マグロの漁獲量が10分の1に減少している事なども影響があるそうです。そのため、差別化を図るため新しい機械を購入したそうですが、資

返った。人間関係が大事だと感じている」と報告されました。

③ 大分民商の「建

設内装業」からの報告では、祖父・父・息子と3世代に渡っての民商会員からの報告でした。

仕事も民商活動も引き続き活躍をしているそうです。父も当然民商活動をしています。息子も業者青年として全国（全青協役員）で活躍しています。3年位前からは、姉も民商の事務局員となり、家族でドブプリ民商にはまっています。

② 兵庫・伊丹民商

会長で、「葬祭業」の速水さんの報告では、やはり親からの引継ぎで、民商に入ったそうです。民商の仲間からの紹介が多くあるそうです。速水さんは商工会議所にも入会しているそうですが、そこらではお金の話はできないが、民商では気軽に話ができるそうです。

民商では本音で語れ、事務局と話がよくできると話されました。

「伊丹民商では、多くの人に話しをして、役員に多数の人になっていただくことができ、平均年齢が30歳位は若

要求運動部会の報告

要求運動部長 寺本政喜さん

5月14日（火）夜、定例の要求運動部会を開催しました。

要求運動部での勉強会では、『月間民商4月号』の埼玉・入間東部民商の副会長の報告を読み合わせ勉強をしました。

『会員334人、読者595人、5つの支部があり、全支部で女性が支部長です。事務局は2人の男性事務局員と1人の女性のパートタイマーの3人態勢です。』

私、高橋副会長が役員を引き受けてから毎月の月例会議が成立できなかつたことは一度もありません。残念ながら青年部は月例会議が開催できておりません。

青年部のように単独での活動ができない時は他の組織と一緒に活動と、レクレーションです。1泊旅行は好評ですが泊りがけは参加できないが日帰りなら参加できる会員もいます。大ヒットのイベントになりました。もう一つは婦人部と青年

部が合同で参加した「ふるさと祭り」です。

未収克服にも力をいれ、未納の会員へは必ず連絡を入れてこまめに訪問し直接会って話を聞くなどで殆ど解決しています。

月末の会費納入率は毎月ほぼ85〜95%になっており、一年間のうち6ヶ月以上100%という支部もあります。

民商新聞を定期発行（北民商も毎週発行）しています。会員さんの「仕事訪問」と読者川柳を連載しています。

読者との交流、読者の紙面参加が目的です。会員さんとのコミュニケーションを果たします。「新規開拓」や「深耕開拓」の役目を果たします。

拡大運動では、会員訪問です。会員拡大の80%以上は会員からの紹介です。会員の訪問は欠かせません。会員拡大での新規読者に長い期間購読を続けてもらうことが課題です。来年は50周年を迎えます。50周年に向けた取り組みを開始する予定です。

そのためには、運動の先頭に立ってくれる役員さんの輪をもう一回り大きくしなければなりません。新しい50年に向かってピーク時に近い現勢となる拡大を目指します。』

と、頑張っている民商もあります。広島北民商も新しい民商に向けて頑張っているのだから

はなりません。今回の要求運動部の読み合わせの勉強では真に思いました。まだまだ役員さんが足りません。もっと増やしていくことが大切で、動ける、動く役員さんが必要。

【寺本政喜記】

にっぺい

◎25日（土）

～26日（日）

・全商連総会

◎27日（月）

・無料法律相談

要予約 昼2時

◎28日（火）

・婦人部「雨水処理

場見学」

・法人学習会

・市社保協会議

◎30日（木）

・陽気な道場

※要・事前予約

◎31日（金）

・法人集団申告

北税務署 10時半

婦人部主催「社会学習」

うすい

雨水処理場 見学ツアー

日時：5月28日（火）

場所：大州雨水貯留池

マツダスタジアム地下

※集合場所と集合時間は、先週のチラシをご覧ください。か、婦人部役員又は事務局にご確認を。

参加は先着20名です。